

平成25年度 第5回防災教育推進委員会 会議録

開催回数	第5回／全5回
開催期日	平成26年1月15日（水）
開催時間	午後2時00分 ～ 午後4時00分
開催場所	市役所東庁舎6F 東61会議室
出席者	委員13名
主な内容 1 開会 2 教育委員会あいさつ ・市教委学校教育課長 ・県教委健康学習課指導主事 3 委員長あいさつ ・防災教育の必要性は誰しも感じているが、なかなか進めることができない現状があった。そうしたなか、本委員会が指針を示すヒント集を発刊することは一つの成果である。 4 経過報告 5 活動報告と協議 ・12/14 防災教室（猿投台中）（講演、保護者参観でのHUG実践） 学区の避難所運営班がHUGの講師を行ったことがよかった。お互いに知り合うことができた。地域と連携した防災教育を今後も進めたい。 6 防災教育プログラム（防災教育ヒント集）について ・防災教育に役立つ資料の掲載（防災に関するHP、DVD、施設等の紹介） 7 モデル地区報告書作成について ・成果と課題を明確にし、各学校の防災教育において活用できるようにする。 8 情報交換、意見交換 ・ヒント集を学校はどう使っていくか、また、実践の結果をどう集約していくか、来年度は具体的な方策を検討する必要がある。 ・教師一人一人の意識をどう高めるかが課題である。 9 今後の予定 10 ご助言 ○飛田先生 ・教委と防災関係課との連携をこれからも続けたい。耐震構造等ハード面の見直しもこの機会に進めていきたい。災害への対応としては、愛知の中の豊田、日本の中の愛知といった大局的な見方もできるようにしていきたい。 ○能勢先生 ・気象台の持っている資料等を学校でさらに活用し、防災教育の充実を図りたい。 ○近藤先生 ・教育研究は、深まりと広がりが必要である。今後、ヒント集が与えられたものではなく、一人一人の実践から得られたものとして、改良されていくとよい。ヒント集の実践や各学校における防災関連の取組等を集約する方法を具体的に考えていく必要がある。 12 諸連絡 13 閉会	